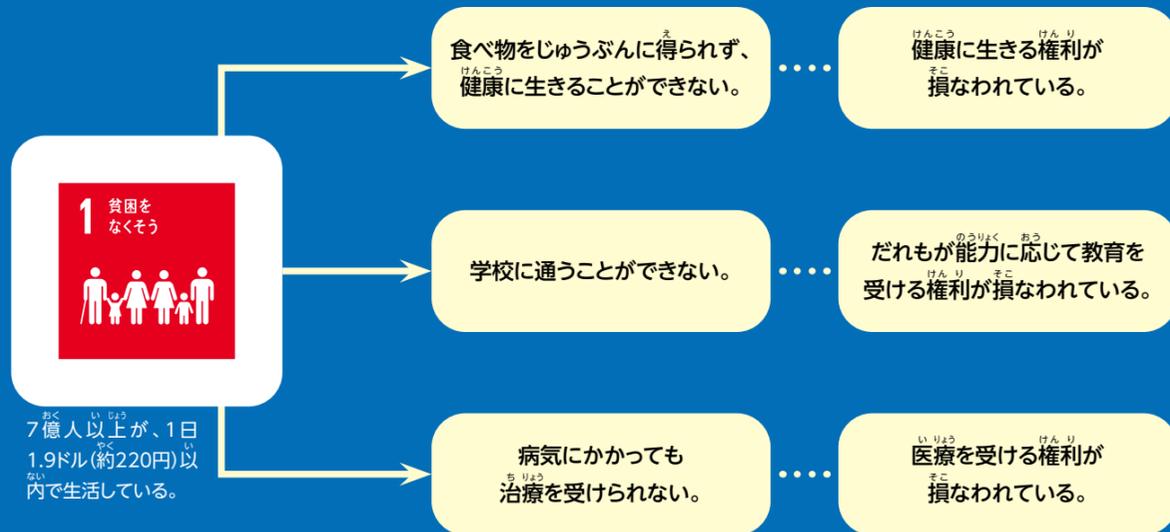


人権をめぐるさまざまな問題

SDGsの目標は、人権と深い関係があります。

例えば、「1 貧困をなくそう」は、「あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる」ことを目標にしています。現在、世界には、1日1.9ドル(約220円)以内で暮らさなければならない人が7億人以上もいます。これでは食べることもさじゅうぶんでなく、病気のときに治療を受けられず、学校に通うこともできません。人権の中でも重要なもののひとつである、人として健康に生きる権利や教育を受ける権利が損なわれています。貧困の原因はさまざまですが、紛争や国のしくみなどが原因であれば、その人たちの努力だけではどうすることもできません。

ESDGsのひとつが、いくつもの人権の問題と関係しているね。



7億人以上が、1日1.9ドル(約220円)以内で生活している。



ごみを拾って生活する子ども。健康に生きるといって、最低限の人権さえ損なわれている。

SDGsとの関係から人権を考えよう

SDGsの「1 貧困をなくそう」は、健康に生きる権利である生存権と関係しています。

人権と関係のあるSDGsの目標

は、これだけではありません。「2 飢餓をゼロに」「3 すべての人に健康と福祉を」も生存権と関係します。「4 質の高い教育をみんなに」は、教育を受ける権利である教育権に、「5 ジェンダー平等を実現しよう」は、だれもが平等にあつかわれる権利である平等権に関係しています。

このように、人権について考えるときに、SDGsとの関係から見ていくと、どのような問題があり、その原因はなにか、解決するにはどうしたらよいか分かりやすくなります。

生存権



人権とSDGsには深い関係がある!

教育権



平等権



人権の尊重がSDGsの達成につながる

残念ながら、現在の世界は、すべての人の人権が尊重されているとはいえない状況です。多くの人が人権をおびやかされ、それがさまざまな問題となっています。

その原因を探り、すべての人の人権が尊重されるように努力していくことが、SDGsの達成にもつながります。

私たちに身近な、そして、世界の多くの人が直面している人権の問題について知り、考えていきましょう。

©PIXTA



SDGsを意識しながら、人権について考えていこう。



幸せに生きるには、人権が尊重されることが重要。

ESDIJIZU SEISONKEN SDGsと生存権

ESDIJIZU SEISONKEN HOSHO MOKUYO SDGsにも、すべての人の生存権を保障する目標があります。



HIKON OBIYAKASARERU SEISONKEN 貧困におびやかされる生存権

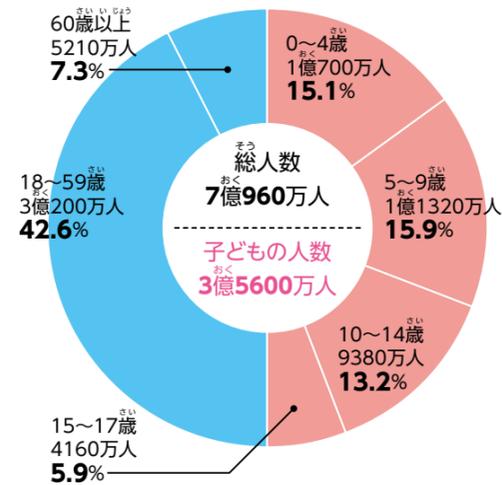
SEISONKEN OBIYAKASARERU CHOKUSHO GENIN HIKON SHUJOU 生存権がおびやかされる直接の原因は貧困です。収入が少なく、使えるお金が少ないと、健康で文化的な最低限度の生活を送れません。

ESDIJIZU HIKON SDGsでは「1 貧困をなくそう」として、「世界中で極度に貧しい暮らしをしている人をなくす」、「2030年までに、それぞれの国の基準でいろいろな面で『貧しい』とされる男性、女性、子どもの割合を少なくとも半分に減らす」などの達成目標をかかげています。

世界には、1日1.9ドル(約220円)以内で暮らさなければならぬ人が7億人以上います。これは絶対的貧困といわれます。貧しい人の生存権を守るしくみが整っていない国もあり、貧困に苦しむ人たちは、じゅうぶんな教育を受けられず、なかなか貧困からぬけ出せない状況にあります。

SIWAMETE HISHII KURASHI OBIYAKASARERU HINOSHIN ざわめて貧しい暮らしをしいられている人の数

日本ユニセフ協会資料



TEKIHINKON 先進国の相対的貧困

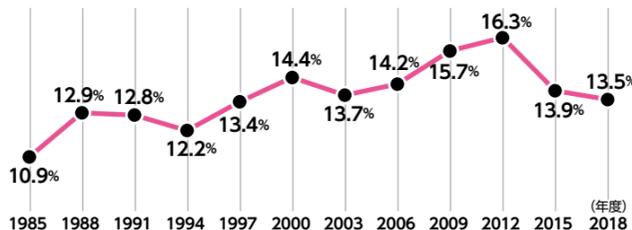


日本などの先進国には、絶対的貧困の人はほとんどいません。先進国では、国民一人ひとりの手取り収入を試算して順番に並べたとき、中央値の半分に満たない人を「貧困」と定義しています。これを相対的貧困といいます。

日本の子どものうち、約14%は相対的貧困に当たるといわれています。このような子どもは、1日に食べるものが給食だけだったり、病気のときでも病院に行けなかったりする環境に置かれています。

HINAKONRITSU NO UCHU NO SEISONKEN RINRI KAWARI 日本の子どもの貧困率の移り変わり

厚生労働省「国民生活基礎調査の概況」



SEISONKEN OBIYAKASARERU TAME NI... 子どもの生存権を守るために...

SEIEN TAISEI DE KAIKESAKU O 社会全体で解決策を

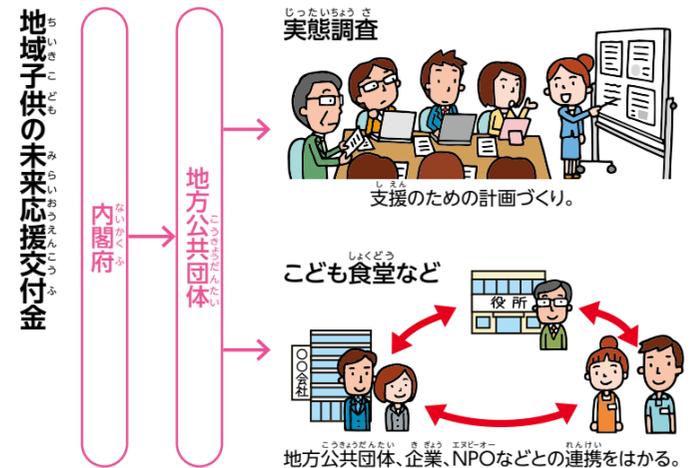
子どもたちが貧しい環境に置かれていることは、子どもの生存権を損なうとともに社会にとっても損失です。子どもたちがじゅうぶんな教育を受けられないことで将来の収入が減ってしまうと、国の税収が減ることにつながります。子どもの生存権を守ることを社会全体の問題として考えていく必要があります。

SEIEN TAISEI DE KAIKESAKU O 政府が行っている対策

2013年に政府は、「子どもの貧困対策の推進に関する法律」を定めました。2014年には、「子供の貧困対策に関する大綱」で対策の基本方針を示し、右のような取り組みを行っています。

DOUHO KOUHON TAISEI DE KAIKESAKU O 地方公共団体が 行っている対策

都道府県や市(区)町村には、政府から「地域子供の未来応援交付金」が出されています。地方公共団体は、この資金をもとに対策をとっています。



SHOKUDOU YAKUWARI 子ども食堂の役割

地方公共団体や民間の団体によって運営されている子ども食堂も、子どもの生存権を守る対策のひとつです。その大きな役割は、子どもたちが健康に生きられるように食事を提供することですが、そのほかにも、家や学校で居場所がない子どもよりどころになること、さまざまな悩みを持つ親が相談できる場所になることなどの役割もあります。



SHOKUDOU NO YOUSU 子ども食堂のようす。

教科書がただなのはなぜ？



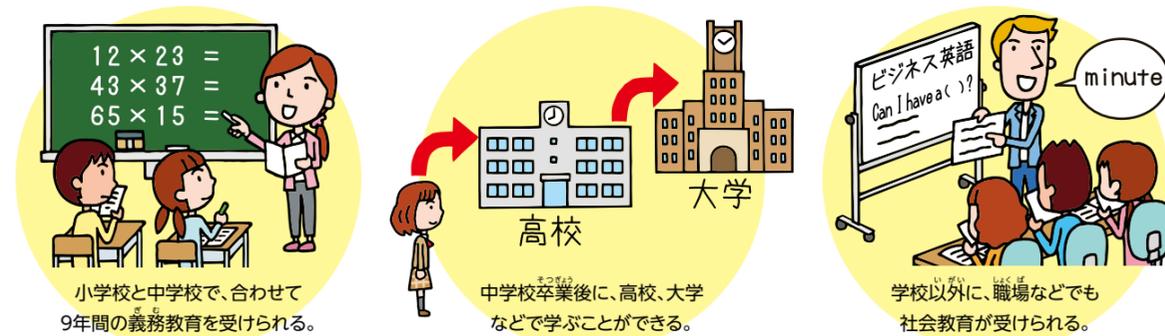
学校で学ぶことが保障される権利、教育権

社会権のひとつに、「教育権」があります。人間らしい生活を送るためには、教育を受けて知識や技術を身につけることが欠かせません。国民の誰もが教育を受ける権利を持っています。また、国は国民が教育を受けるための制度と場所を提供しなければならないと考えられます。

日本国憲法第26条
すべて国民は、法律の定める
ところにより、
その能力に
応じて、
ひとしく
教育を受ける
権利を有する。



教育権とは…



子どもに教育を受けさせることは国民の義務



国民は「普通教育」を受ける

憲法が義務教育とする普通教育とは、知識や判断力、友だちとの協調性などの能力を養う教育であり、職業教育や専門教育ではないと考えられます。

小中学校でなにを教えるかは、この考え方もとづいて決められています。



©PIXTA
小学校の授業のようす。学校で学ぶ内容は、国が定める学習指導要領で決まっている。

さまざまな人権とSDGs

この巻で学んだことをまとめておこう!



人権

人間が人間らしく生きる権利
人間が自由に、幸せに生きる権利
だれもが生まれながらに持っている権利



基本的人権

日本国憲法で、「侵すことのできない永久の権利」と保障されている



平等権

だれもが平等にあつかわれ、差別されない権利



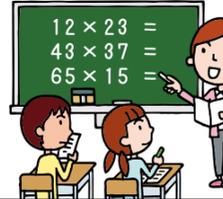
自由権

自分の生き方を自分で決める権利



社会権

豊かに生きる権利
●生存権
●教育権
●勤労の権利



新しい人権

社会の変化に合わせて認められてきた権利
●プライバシーの権利
●情報を知る権利
●環境権
●自己決定権



子どもの人権

大人と同様に認められる権利
●生きる権利 ●育つ権利
●守られる権利 ●参加する権利



いろいろな人権を学んだね。

SDGsとの関係もわかったよ。



さいくいな

あ行

- アイヌ 13
- アイヌ文化振興法 13
- 新しい権利 31、32
- 新しい人権 30
- 生きる権利 35
- 移動の自由 17
- インフォームド・コンセント 33

か行

- 学習指導要領 23
- 学問の自由 15
- 環境基本法 32
- 環境権 16、32
- 環境問題 6
- 感染症 17
- 飢餓 6、36
- 貴族制度 11
- 基本的人権 4
- 義務教育 23、25
- 虐待 35、36、37
- 教育委員会 25
- 教育権 9、22、23、24
- 教育支援センター 25
- 教科書 22、25
- 居住・移転の自由 15
- 勤労 27
- 勤労の権利 26、28、29
- クローン技術 33
- 経済活動の自由 15
- 経済問題 6
- 刑事訴訟法 17
- 検閲 17
- 嫌煙権 32
- 健康で文化的な最低限度の生活 18、19、20
- 健康保険 29
- 公共の福祉 17
- 幸福追求権 33
- 拷問 15
- 個人情報 31
- 個人情報保護法 31
- 子どもシェルター 37
- 子ども食堂 18、21

- 子どもの権利 34、36、37
- 子どもの権利条約 35、37
- 子供の貧困対策に関する大綱 21
- 子どもの貧困対策の推進に関する法律 21
- 雇用保険 19、29

さ行

- 裁判 16、17
- 参加する権利 35
- 残虐な刑罰 15
- ジェンダー 12、13、36
- 自己決定権 33
- 思想・良心の自由 15
- 児童虐待 37
- 児童虐待防止法 37
- 児童の権利に関する条約 35
- 児童福祉法 37
- 社会教育 23
- 社会権 4、18、19、22、23、26
- 社会問題 6
- 修学支援制度 25
- 自由権 4、14、15、16、17
- 奨学金 25
- 肖像権 30、31
- 情報公開制度 32
- 情報を知る権利 32
- 職業選択の自由 15
- 女性活躍推進法 13
- 信教の自由 15
- 人権教育啓発推進法 13
- 身体の自由 15
- スクールカウンセラー 25
- スクールロイヤー 37
- ストライキ 27
- 生活困窮者自立支援制度 19
- 生活保護 19
- 精神の自由 15、16
- 生存権 9、18、19、20、21、33
- 成年年齢 35
- 制服 14、17
- 絶対的貧困 20
- 先住民族 13
- 争議権 27

- 相対的貧困 20
- 育つ権利 35
- 尊厳死 33

た行

- 体罰 36、37
- 団結権 27、29
- 団体交渉権 27、29
- 団体行動権 27
- 地域子供の未来応援交付金 21
- 地球温暖化 6
- 通信の秘密 17
- 点字ブロック 10、13
- 東京都子ども基本条例 37
- 同和問題 13
- 奴隷 15

な行

- 難民 6
- 日照権 32
- 日本学生支援機構 25

は行

- 働き方改革 29
- バリアフリー 13
- 表現の自由 15、16、17
- 平等権 4、9、10、11、12、13
- 貧困 6、20、36
- 貧困率 20
- 普通教育 23
- 不登校 24、25
- プライバシーの権利 31、32、33
- 部落差別解消推進法 13
- フリースクール 25
- 法の下での平等 11
- ホームスクール 25

ま行

- 守られる権利 35
- 文部科学省 25

ら行

- 労災保険 29
- 労働関係調整法 29
- 労働基準法 29
- 労働組合 27
- 労働組合法 29